

4) 西山地区



I ■ 地区の将来像（20年後に実現したい姿）

岩手山と共に生きる 魅力が満載 ふるさと西山

岩手山をはじめ豊かな自然であふれる西山地区は、そこに暮らす人々や訪れる人々に様々な恩恵を与え続けてくれています。そのひとつひとつが西山の「魅力」であることを再認識し、町内外にもその「魅力」を知ってもらうことで西山の未来を守り育てていきます。

II 人口の予測

地区の人口は、2015年現在 3,978 人で、そのうち 65 歳以上の高齢化率は 33%です。人口は減少を続けており、このまま推移した場合、10 年後の 2025 年には 3,471 人まで減る予測です。特に働く世代（15-64 歳）が著しく減少します。

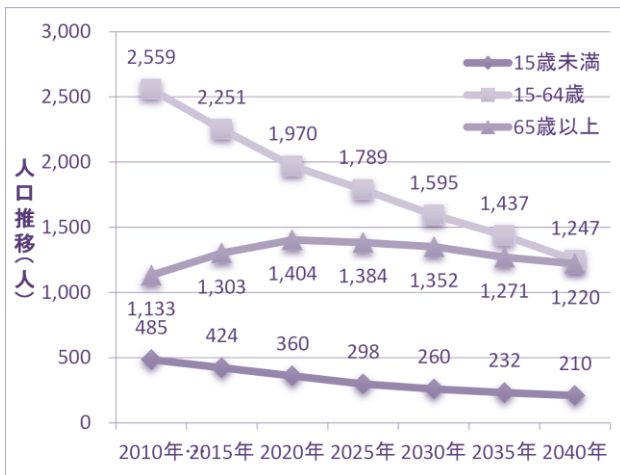


図 西山地区の将来人口（推計）

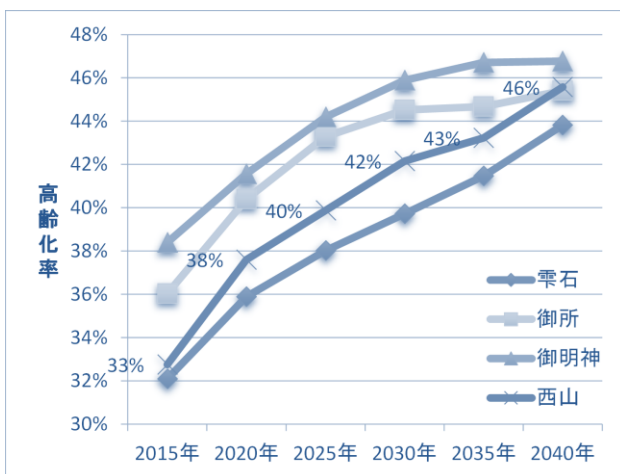


図 高齢化率の推移（推計）

III 地域の特性と現状

1. 地域の特徴

- ・ 岩手山をはじめとする山々に囲まれ、葛根田川流域には水田を中心に農地が広がっています。
- ・ 岩手山の南麓には、観光施設やスキー場などのレクリエーション施設が立地しており、温泉や宿泊施設も数多くあります。
- ・ 17 の行政区からなり、世帯数が一番多い林崎行政区は約 170 世帯、一番少ない盆花行政区は 10 世帯、その他は約 20～90 世帯となっています。
- ・ 網張、盆花行政区以外には集会施設があります。
- ・ ほぼ全行政区に、自主防災組織が形成され、自主防災会活動や見守り活動が行われています。
- ・ 地区内には、上長山小、下長山小、西根小の 3 つの小学校がありましたが、平成 30 年 4 月に統合し、西山小学校の 1 校となりました。また、保育施設は、西根保育所、西山保育園 2 カ所あります。
- ・ 2010 年の国勢調査によると、地区の就業人口割合は第 1 次産業が 25%、第 2 次産業が 18%、第 3 次産業が 57%です。
- ・ 公共交通手段として、県交通網張温泉線、あねっこバスがあります。

2. 地域の活動・行事

- ・ 各旧小学校区にそれぞれ伝統芸能が伝えられています。また、大宮神社をはじめとする 10 の神社があり、3 神社で奉納相撲が行われています。
- ・ セツ田の弘法桜やモリアオガエルの繁殖地など指定文化財が多数あります。

- ・農業を基幹とした暮らしが営まれ、地域で組織した団体による環境保全活動が活発に行われています。
- ・高齢者の集いの場として「ふれあいサロン」が7カ所で組織されています。

IV 地域の強みと弱み

1. 地域の強み

- ・稲作と酪農、花卉、菌茸などを組み合わせた複合農業が盛んで、岩手山を源とする豊かな水資源を活かしたわさびやどぶろく製造などの特産品産業も取り組まれています。
- ・網張温泉、玄武温泉、雫石高倉温泉、滝ノ上温泉、南網張温泉があり、町内外の人が利用しています。
- ・観光資源にも恵まれ、近年は、特に仁佐瀬から極楽野へ通じる道路沿線を中心に食事処が次々に開店するなど「長山街道」として多くの人が訪れています。
- ・三世代家族が多く、伝統芸能の継承、集落や体育会行事などで世代間の交流があります。
- ・就業率は63%？と他地区に比べ高くなっています。

2. 地域の弱み

- ・診療所やガソリンスタンド、日用品を購入できる商店などがなくなってきており、また、県交通やあねっこバスの運行はあるものの、各集落間や市街地との交通に課題があります。
- ・岩手山の火山活動は沈静化しているものの、噴火・地震が発生した場合は、大きな被害が出るものが予想されます。

V 解決したい課題

1. 「自然」を地域資源とする意識が低い

山、川、空気など自然の魅力を住民があたりまえのものとして捉えているため、手を加えず、荒れている「自然」が多くなってきています。

また、家主がいない建物の老朽化が目立ち、景観

を損なうばかりでなく、地域の安全という面も課題となっています。

地域の子供たちが遊びから生きる力とふるさと愛を学び、観光で来る人たちが感動できる「自然」を維持していく仕組みが必要です。

2. 地域での見守りが維持できない

かつては地域住民の憩いの場でもあった商店が減少し、バスの運行本数が少ないため、買い物が不便だけではなく、高齢者や子供などを地域で見守る機会が少なくなっています。

また、人口も減り、高齢化が進むなかで地域での活動単位である「行政区」や「班」の維持が難しくなっています。特に「行政区」単位では、一部の人への役の負担が多くなっている状況です。

これは、日常生活ばかりではなく、災害時の対応にも影響を及ぼす可能性があります。

3. 自然の恵みで生きる大切さを伝えていない

岩手山の恵みを活かした農業、観光などが仕事となり、町内でも就業率が高いですが、耕作放棄地の増加や観光資源の維持PRが不足しているため、地域全体の経済力につながっていません。交流者によって地域にお金が落ちる仕組みを意識し、地域の魅力で生きていく方法を次世代に伝え、自然と共存していく活動が必要となっています。

4. 地域の歴史を知る人が減少している

地域内には歴史のある神社や史跡、お祭りが多くあり、各小学校を始めとして伝統芸能活動も盛んですが、その歴史、由来、いわれを知る人は少なくなっており、このままでは歴史や文化が風化してしまう恐れがあります。

地域住民が主体性を持って学び、子どもも含め、地域全体で継承するとともに、町内外へ発信し（盛り上げて）いく仕組み作りが課題となっています。

5. ふるさとへの思いを育む機会が減っている

外遊びや子どもの頃の思い出が故郷に戻るこ

に繋がるといわれており、地域内には自然と遊ぶには最適な山や川などが多く存在していますが、遊び方や安全意識の変化、維持管理の限界などにより、外で遊ぶ子どもが少なくなっています。また、生活スタイルの多様化により、若い世代が地域で自分らしく活動できる機会の確保も困難になっています。

世代を超えて、食・環境・人の魅力を体感し、地域に愛着を持ち、地域に根付いてもらうことが人口減少の歯止めに繋がります。

6. 地域の魅力が生かされていない

地域のお祭りや行事に参加する人が少なくなっていることから、参加したくなるような内容にすることと、ライフスタイルに合わせて参加できるように開催する事が必要です。また、地域内には、誘客数の多い観光施設が多く存在していますが、地域住民自身が魅力を認識し、来る人、住む人に居心地のいい空間を提供する協働体となることが大切です。

VI 活動メニュー

地区の将来像を実現するために想定される方針や取り組み内容は次のとおりです。

自然	方針1. 岩手山の恵みを守り、 親しめる環境にしよう
----	---------------------------------------

①地域に愛され、ともに歩む文化の拠点づくり

岩手山の恩恵を多く受けている西山の地域資源を地域で守る仕組みづくりを行うとともに、地域に愛される環境整備を進めます。

- 写真コンテストの開催
- 西山十景の選定（看板設置）
- ホテルの生態について学ぶとともに、水辺適地を利用したホテルの里づくり
- NPO法人リヴァーパーク葛根田や雫石川漁業協同組合などと協力した葛根田川、平出川の釣りスポットの環境保全
- 六区や岩手山神社のわき水の保全
- 西山の良さを子供達に教える機会の創出

②自然は大切に手をかけて磨いていく

今ある自然を維持できるようみんなで取り組み、さらに親しめる環境になるように努めます。

- 景観維持のための草刈り等の実施
- 除間伐や植林など、里山の手入れの実施

安心	方針2. 地域の資源を活かし、 声かけと交流で安心なまちにしよう
----	---

①元気な高齢者が支える地域づくり

地域コミュニティ活動などを中心に、高齢者が元気に生きがいを持ちながら地域で活動できるようにします。

- 地域に活力を与える町外住民や学生を対象とした農村生活体験ツアーの実施
- 知恵の伝承のための高齢者による農村生活技術の講習会の開催
- 支え合う心を育む世代間交流事業の充実
- 日常の中で高齢者とコミュニケーションが取れる環境づくり

②地域のつながり強化・交流促進

西山地区の住民が一体となって、見守り活動や環境整備活動に取り組むことで、住民同士の連携を強化し、地区を守っていく意識の共有を図ります。

その為に、ライフスタイルに合わせて誰もが参加しやすい仕組みを考える機会を作ります。

- 挨拶運動の推進（家庭と地域）
- 見守り活動（子ども＋高齢者）の実施
- 住民による草刈り・清掃活動等共同作業の実施
- 地域の「困った」に対応する便利組の結成（便利リストの作成）
- 消防団の増強や団員の確保
- 屯所を活用した防災意識の啓発活動
- 有事の際のライフラインとしてのわき水の活用と安全対策の実施
- やれることや野菜などを通貨の代わりとした、「お互い様地域通貨」の発行

③地域活動の拠点の充実

空き家や屯所など地域資源を活かし、だれもが利用しやすい活動拠点をつくり、地域の交流・つなが

りにより安全・安心なまちを目指します。

- ふれあいサロンの増設
- 屯所・各地区公民館の有効活用

産業	方針3. 西山の魅力を資源に育て、 稼ぎ、生きて行こう
----	--

①外貨を稼ぐ

地域の魅力を経済活動の資源として認識し、地域内外に発信する仕組みづくりを進めます。

- 無人販売も含めた産直マップの作製
- 空き地や宿泊施設での朝市の開催

②農林業・畜産業の大切さ、魅力を子どもに伝える

「稼ぐこと」と「食えること」という生活の基本となる農業の大切さについて地域や家庭において子どもに伝え、農業の担い手確保と地域の活性化、**交流人口の増加**に努めます。

- 産直の協力を得ながら、生産者の顔が見える仕組みづくりにより、学校や保育所などで食育を進める。
- 地元の人に地元のものを食べてもらう仕組みづくり

歴史	方針4. 西山の歴史と伝統を みんなで学び、受け継ごう
----	--

①西山の歴史と伝統の継承

岩手山信仰や雫石の地名の由来となった神社、よしゃれの舞台となった土地など、西山ならではの歴史資源を、地元の人も観光客も分かりやすいような「見える化」の工夫を地域の高齢者を先生に、子どもたちも一緒になって、みんなで取り組みます。

- 西山歴史マップ作成（神社、開拓地など）
- 作ったマップを使った子供会行事の開催
- 伝統芸能などの DVD や**カレンダーの作成を通しての次世代への伝承**
- 鳥居、神社の説明看板の設置
- 六区や岩手山神社のわき水の周知

②お祭りの継続と活性化

お祭り・遊びを通じた世代間・地区間交流を活発

に行い、地域の中に楽しみを増やし、**子供など全世代が参加、関わる事ができる**伝統的なお祭りを継承します。

- 踊りの交流会の開催
- 子どもの奉納相撲を継続し、地域全体で盛り上げる。
- 全町相撲大会への参加促進

世代	方針5. 地域ぐるみの世代間交流で 子どもにふるさとの魅力を伝えよう
----	---

①世代間の交流づくり

子ども、子育て世代、**高齢者の三世代**が気軽に集まって、情報や課題を共有できるような場所と機会を提供し、自分らしく生活できるような地域にしていきたいです。

- 年代を越えた情報交換の場としてのパパママ会・じじばば会の結成
- 子ども会や老人クラブ行事の合同開催
- 地元の若者が参加したくなる行事を地域や自治会で考案
- 子どもが集まる場（スポ少、学童など）に高齢者が、高齢者が集まる場（サロン、病院など）に子どもが行って交流する。
- 高齢者が先生となる自然学校の開催
- **学校行事など、子供が関わる行事の地域への情報提供を行う**
- **子供会と老人クラブの行事同時開催**

②地域ぐるみで支える子ども環境づくり

地域全体で子どもが育つ環境を考え、作ることで、将来ここで暮らしたいと思えるようなあたたかい地域づくりを進めていきます。

- 子ども（保育園児や小学生）の西山地区の社会科見学ツアーの**リストアップ**
- 各世代の代表による子育て会議の開催
- 地区公民館や各集落公民館の子どもにひらかれた活発な活用（交流の場として毎日開ける、身近な図書館にするなど）

交 流	方針 6. 人と自然の魅力で 地域を越えた交流を広げよう
--------	---

①住民参加型イベントの企画

西山地区のイベントとして運動会や農作業体験などを開催し、集落や学区をこえて子どもから大人まで楽しみながら交流できる機会を創ります。

- にしやま大運動会などの住民参加型イベントの企画、運営、継続

②西山地区を体験して知ってもらう（魅力発信）

豊かな自然環境はもちろん、スキー場や温泉、宿泊施設など観光資源を生かし、西山らしさを味わえる観光ルートや体験プランを考案し、町内外に発信します。

- 西山独自の西山十景を活用したお宝ルートの考案
- 他団体と協力したスポーツ合宿等の受入PR
- 高齢者が先生となった自然学校の企画、運営
- サイクリングコースの設置

見 直 し	方針 7. 地域の役と行事を見直し、誰もが関われるまちづくり（仮）
-------------	--

①行事実施 役のスリム化

行事を行う際の役の負担を減らし、誰もが関われる様に行事の見直しを行います。誰もが楽しみながら役を持ち、次世代の育成を行いつつ、一部の人の負担を減らすよう取り組んでいきます。

- 次世代人材（財）育成
- 組織運営の簡素化と効率化
- 気軽に集まれる話し合いの場作り
- 役職と行事の見直し

②行事への参加者不足

ライフスタイルの変化から、行事に参加できる人が減少しているため、行事の開催日時の検討や行事そのものの開催方法、行事の組み合わせの工夫など、誰もが参加しやすい開催方法を検討すると共に、参加者が増えるように周知方法を工夫します。

- 行事や地区の連絡が簡単にできる仕組みづく

り

- 複数行政区による連合チームの形成
- 子供や高齢者が触れ合いながら世代交流できるような体育行事の企画